

トラスト地の動物紹介

キタキツネ(北海道)

北海道に主に生息するキタキツネは、1978年公開の映画『キタキツネ物語』により一躍有名になり、北海道のシンボルとして親しまれています。初産の際には母親の元へ里帰りし、子育てを行うなどの珍しい習性も見られます。

映画の舞台となった北海道の小清水町では、原作者の竹田津実氏と地元農家らが立ち上げた(財)小清水自然と語る会が、野生動物の楽園を目指して35年以上にわたりナショナル・トラスト活動を展開しています。



キタキツネの子ども
(撮影：竹田津 実)

With You活動とは

私たち三井住友信託銀行は、良き企業市民であり続けたいという思いを「With You」という言葉に込め、生物多様性を守る「生きもの応援活動」、お客さまが豊かに年を重ねるお手伝いをする「サクセスフル・エイジング」、そして「地域・社会」の発展を3大テーマに、さまざまな活動を行っています。「顔の見える銀行」であるために、地域社会の皆さまとともにWith You活動に取り組んでいます。



With You活動のより詳しい情報は、WEBサイトでも紹介しています。

<http://www.smtb.jp/csr/withyou/>

食卓からエコ！

かんたんエコレシピ



春の七草「すずな」としても知られるカブ。この季節に旬を迎えるやわらかい春のカブを使ったレシピをご紹介します。

カブのペペロンチーノサラダ



● ポイント ●

『カブを丸ごと、ササッと調理』

カブは、皮を剥かず葉まで丸ごと使い切って生ごみ削減。3分以内でササッと炒めて、エネルギーも節約しましょう。

調理時間の目安 10分

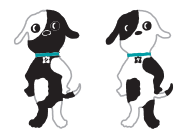
材料(2人分)

カブ・カブの葉……………2個分
しめじ・赤パプリカ……………適量
ベーコン……………30g
にんにく……………1片
タカの爪……………1/2本
オリーブオイル……………大さじ1
塩・黒こしょう・レモン……………少々

作り方

- 1.カブは皮付きのまま、食べやすい大きさに切る。
- 2.フライパンにオリーブオイルとにんにく、タカの爪、カブ、ベーコン、赤パプリカ、しめじを入れて、軽く焦げ目がつくまで炒める。
- 3.カブの葉を切ったものも入れて、塩・黒こしょうで味をつけたら皿に盛り、レモン汁を振りかけてできあがり。

監修：料理研究家 安井レイコ氏



シンジル & タクセル

三井住友信託銀行のキャラクター
シンジル&タクセル

With You支店ブログも
ご覧下さい

<http://branchblog.smtb.jp/>

編集室から

前号から続く認知症のスペシャルトピックはいかがでしたでしょうか。いずれは係わる我がこととして考え、普段から心がけておかねばならない問題と感じます。

また、昨年12月、東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2013」において、当社は『自然資本』をテーマに掲げたセミナー開催とブース出展をしました。何やら難しそうなテーマですが、私たちの生活や経済活動を

支えている生物多様性、水、空気、大地といった自然の財産を資本と考え、持続可能な利用をしていこうというものです。当社はいち早く関連商品の開発に取り組むなど日本企業をリードし、海外からも注目されています。

豊かな自然資本を将来世代に引き継ぐことができる社会、高齢者が健康で充実した生活ができる社会を目指して、これからもCSR活動に取り組んでいきたいと思ひます。

(編集室F.G)



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

認知症と向き合う暮らし方

記憶力や判断力が著しく低下し、日常生活を営むのが難しくなる認知症は、多くの人が発症リスクを抱え、グローバルな課題になっています。この病気とどう向き合っていくべきか、特に家族が認知症になったとき、どのような対応が求められるか——前回に引き続き、浴風会ケアスクール校長・服部安子先生にお話を伺いました。



東京都選定歴史的建造物である「浴風会本館」。関東大震災の被災老人を援護する施設として、大正15年に建てられた。

服部 安子 先生
社会福祉法人 浴風会 ケアスクール校長／福祉専門学校、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の立ち上げに長く携わる、新時代の認知症ケアの第一人者。

すのかという視点を欠いたために、もといた地域でのつながりを絶たれ、自室に引きこもる生活が始まると、身体状況は低下し、認知症の症状が急激に悪化する方もいます。介護を全て家庭内で完結させようとせず、適切に外の力、例えば介護・医療専門職の助けを借り、上手に双方にとっての介護の望ましい姿を模索していくことが肝要です。

「その人らしさ」を認めてくれる施設を探す

ケア施設を利用することを決めた場合、その施設(事業所・居場所)選びは非常に大切です。残念ながら、今も正しい認知症ケアができる施設は必ずしも多くないと思います。もし、適切なケアがなされずに、暴れたら縛る・投薬等といった対処療法の施設に任せてしまった場合、家族は切なくなり、「もっと自分で介護ができたのでは…」と自責や後悔の念に悩まされることになります。

前回もお話ししてきたように、認知症の人は尊厳を持った一人の人間として接すると、症状が穏やかになります。彼らが持っている力や「その人らしさ」(全生活史)をきちんと認め、「心の声に耳を傾けられる」コミュニケーションを重視したケアを行う施設を選んでください。良い環境に身を移したことで症状が落ち着き、それまで介護で疲れ切っていた家族を気遣えるほど余裕ができるようになることも少なくありません。

苦労を分かち合う場を持つ

世間体などを気にするあまり、認知症の家族がいる事実を周囲に隠すというのはよくあることです。しかし、介護の渦中にいると「自分だけが苦しい思いをしている」という追い込まれた気持ちだけが強くなります。そうしたとき、苦労を分かち合い、情報・ノウハウを共有しながら励まし合う場として、地域にある認知症の家族会などに参加するのも一つの方法です。私は東京・杉並区で長年家族会を開いていますが、地縁が薄い都会では特にこうした場は貴重であり、同じ苦労を抱える人同士が心を休める止まり木となっています。

介護はいつか終わるものです。100人いたら100人の介護模様があります。要介護度や他人の介護等と決して比べないでください。一人ひとりの価値観や文化、家族史、健康状態や経済状況等に照らし合わせ、自分と相手の立ち位置を見定め、関わり方を考えなければなりません。双方にとって、トータルな人生を考えた本当の意味での良い介護ができれば、後から振り返った時、「あの介護は貴重な経験となった」と思うことができるはずです。

支店活動紹介

環境・生きもの応援 本店営業部

「自然資本」を守るために信託銀行ができること ～CSRパネル展で当社の取り組みを紹介しました～



「自然資本」という言葉をご存知ですか？自然資本とは、私たちを取り巻く多様な生物や、生物を育む水、土、大気などの地球の自然の資産を指します。人間は自然資本から、食料、水、燃料などの供給、気候の安定、災害の抑制など、計り知れないほど多くの恩恵を受けています。企業にとっては事業の基盤というべきもので、その価値を測定しようという試みが世界では始まっています。

本店営業部では、こうした自然資本の概念や当社の取り組みをより多くの方に知っていただくため、パネル展を開催しました。

当社は2012年、国連組織が起草に携わった自然資本宣言に署名し、日本企業の先陣を切ってこのテーマに取り組んできました。生物多様性や水の保全に取り組む企業へ投資をする投資信託の開発や、世界で初めて自然資本を評価に組み入れた融資商品も開発しました。

自然資本への取り組みをより詳しく紹介した報告書も出しています。ぜひご覧ください。
2013 CSRLレポート <http://smth.jp/csr/report/>



サクセスフル・エイジング支援 岡山・岡山中央支店



特殊詐欺に遭わないための知識と心構えを！

12月6日、岡山支店と共同開催した「投資環境セミナー」において、岡山県岡山中央警察署生活安全課より講師をお招きし、「特殊詐欺」への対策についてお話しいただきました。

“特殊詐欺”には、高齢者に被害が集中しているオレオレ詐欺、還付金詐欺のほか、架空請求詐欺や融資保証金詐欺などの「振り込め詐欺」が含まれます。2013年の全国の特種詐欺被害件数は11,998件。被害総額は4年連続で増加し、過去最悪となる約487億円となりました。岡山県でも、昨年の被害件数は149件、被害総額は約11.4億円と、過去最悪の被害状況となっています。

被害拡大の背景には、犯行手口の巧妙化があります。最近では特に、犯人が現金やキャッシュカードを直接自宅等に取りに来る「振り込ませない」詐欺や、トラブル発生を口実に現金の準備を依頼する電話が入ったのち、代わりの「受け子」が現金を自宅等に取りに来る詐欺が起きています。お金を引き出す際に、出金の目的をいわないように口止めるケースもあるそうです。講師の方からは、「自分は大丈夫だ」と過信せず、不審な電話を受けた時はすぐに警察へ相談するようアドバイスをいただきました。

私たちはお客さまへの声掛けを励行し、警察との連携をさらに強めて、特殊詐欺の未然防止に努めてまいります。



地域・社会サポート 富山支店

「きてきて富山 きときと富山」で北陸新幹線開業をPR

北陸新幹線の開業まであと1年余りとなりました。東京駅と長野駅を結ぶ長野新幹線は、2015年春に北陸新幹線として金沢まで延長されます。これにより、東京・富山間は従来よりも約60分短い2時間7分で結ばれる予定で、富山と東京の距離はぐっと縮まります。富山県内には、黒部宇奈月温泉駅、富山駅、新高岡駅の三駅ができる予定です。

富山県では現在、「きてきて富山 きときと富山」というキャッチフレーズでこの開業をPRしています。「きときと」とは、富山の方言で「新鮮な」「活がいい」という意味で、「北陸新幹線で、新鮮な富山の魅力を探しに来てね」というメッセージが感じられます。

当店でも、店内にポスターを掲示するとともに、ロゴとキャッチフレーズが書かれたシールを社員の名刺に貼り、北陸新幹線の開業をPRしています。北陸新幹線の開業で地元が活気付くことを願って、地域社会の一員として富山の振興を応援していきたいと思っています。

